

## ビルマのチョーラーアウンさんが釈放に！



1月19日、ビルマ（ミャンマー）の著名な弁護士で、人道 NGO の元スタッフでもあるチョーラーアウンさんが釈放されました。そもそも何の罪も犯していないのに刑17年の判決を受け、2年半服役

した後、ようやく家族の元に戻ることができました。

ご本人からアムネスティに感謝のメッセージをいただきました。「私のために活動して下さったアムネスティの皆さんには本当に感謝しています。釈放後、多くの方が送ってくれた手紙やアピールを読み、その活動の力強さと素晴らしさを改めて感じました。驚きと感謝で一杯です。今回の釈放は、皆さんのキャンペーンのおかげです。アムネスティほか多くの人権団体や活動家の皆さんが私のために精力的な活動を進めて下さったからです。釈放後、私自身もアムネスティの会員になりました。フェイスブックでも繋がりました。私もアムネスティの一員なのです」

実際、私たちも活動データの分析結果から、アムネスティの活動がチョーラーアウンさんの釈放を早めたと見ています。2013年のライティング・マラソンでは10万通を超えるアピール文をビルマ政府に送りました。その結果、ビルマ人権委員会が調査に乗り出し、最終的にはチョーラーアウンさんの病気の治療や減刑につながりました。今回の釈放も、継続的に活動し、ビルマ政府に圧力をかけてきたことが背景にあることは明らかです。アピールをお送りくださった皆さん、どうもありがとうございました！

※現状、チョーラーアウンさんの安全は十分に確保されているとはいえません。そのため釈放のニュースが公になるまでは、この情報の外部への発信はご遠慮ください。

## マニングさん、治療を受けられるように！

2月5日、アメリカ軍の承認によって、チェルシー・マニングさんが性同一性障がい（トランスジェンダー）のホルモン治療を受けられるようになりました。この治療によりマニングさんは、女性として生きるための性転換が可能になります。

マニングさんは2010年5月、軍の精神科医より性同一性障害と診断されました。国の秘密情報を漏えいしたとして刑35年を言い渡された2013年には女性として生きていきたいという意志とともに、一刻も早くホルモン治療を開始したい旨を表明していました。2014年には、ホルモン治療を求めて法廷で争い、ホルモン治療が認められました。しかし、十分な治療が行われなかったため、精神が不安定になり自殺や自己去勢を行う危険性が高まっていました。マニングさんの弁護士は、今回の決定を歓迎しているものの、今までの治療の遅れはマニングさんに対する精神的なダメージも大きかったと話しています。

さらに3月4日には、陸軍刑事控訴裁判所が軍に対し、マニングさんと呼ぶ際には男性呼称の使用を止めるようにも命じました。これは、2月にマニングさんの弁護人が、裁判に関連文書には、マニングさんの現在の名前と女性呼称を使用するように陸軍に要請したところ、陸軍から異議申し立てが行われたため、その申し立てに対する命令でした。

マニングさんの弁護士は今回の件について「長年の間、国から不当な扱いをうけていたマニングさんが、体と心が一致させることができるようになります。彼女の女性としての人権が尊重されたことは大変喜ばしいことです」と述べています。



## グッドニュース キャンペーンの葉書、国を動かす！

〔フィリピン〕フィリピン支部は3月27日、ジェレミー・コアさんに正義を求めて、世界中から集まった7万通以上のアピール文を、国家警察内務庁に手渡しました。支部担当者によると、世界中からの手紙の山を警察官が仕分けしているのを見るのは何とも壮観だったそうです。

内務庁は、今後内部でジェレミーさんのケースを協議し、アムネスティからの手紙に対する何らかの対応を取ることを約束してくれました。国家警察ほか国の関係機関は、「世界中からの熱心な訴えを受け取ったことで、ジェレミーさんの問題に強い関心を寄せるようになった」と語っています。



す。

このアクションに協力してくれた多くの方がたに感謝します。ありがとうございました。

## 勾留されていた女性ドライバー、釈放される！

〔サウジアラビア〕サウジアラビアで車を運転したとして逮捕され収監されていたルージャイ・アル＝ハスルールさんと、知人のメイサ・アル＝アム＝ディさんが釈放されました。サウジアラビアでは女性が車を運転することは法律で禁止されていますが、彼女たちは、女性たちの運転する権利を求める運動の支援者でした。

二人の拘束後、弁護士が要求したにもかかわらず、取り調べには同席できませんでした。弁護士不在の取り調べと

勾留期間の延長を受けた末、矯正施設や拘置所に入れられていました。2人に対する緊急行動は、ひとまず終わります。協力していただいた皆さん、ありがとうございました！



## UAEの実業家、釈放されトルコに強制送還

〔アラブ首長国連邦〕トルコ国籍の実業家で研究者でもあるアメール・アルシャさんが、135日ぶりに釈放されました。国家安全機関により拘束され所在が不明でしたが、3月13日、突然釈放され、そのまま飛行機に乗せられてトルコに送還されたのです。4カ月以上の拘留の間、さまざまな精神的・物理的な拷問や虐待、圧力を受け、頭が混乱し意識を失ったこともあるといいます。

アルシャワさんは昨年10月、親族の結婚式に出席するため、イスタンブールからドバイ国際空港に着いた直後に逮捕されました。携帯電話を没収される前にメールを送り、非常事態を友人に知らせたのでした。その後、本人からはほとんど連絡がなく、関係機関から「手続上もうしばらく勾留する」という通告があったのみでした。所在と逮捕理由が不明なまま4カ月以上が過ぎていました。

本件に関するアクションはこれで終了いたします。アピール文を送っていただいたすべての方々にお礼申し上げます。

### UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778

E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円

郵便振替 00120-9-133251

加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本